

## たしかめプリント【小学校三〜四年生】読むこと①

年 組 番 名 前

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【資料】段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

## 「時の記念日」はどんな日？

- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
- 2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
- 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
- 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
- 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。



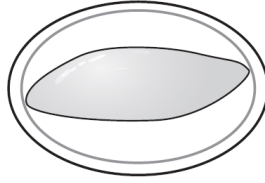
(問い) 小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

小野さん……

今村さん……

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか  
**オムレツ**  
(調理時間約10分)



材料 (一人分)

- 卵 ..... 2個
- バター ..... 5グラム
- 塩 ..... 少々
- こしょう ..... 少々

作り方

- 1 ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 2 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- 3 フライパンを前後に動かしながら、さいばしで円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 4 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 5 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 6 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。



ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読み、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあとの感想」をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

たしかめプリント【小学校三〜四年生】読むこと②

年 組 番 名 前



【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおりに卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかつたな。次は白いところが残らないようにしたいな。



山本さん

少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。



川上さん

(問い) 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、【オムレツのページ】をもう一度

読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

山本さん……

川上さん……